

ONESOURCE
Global Trade Visibility

国際取引の可視化

取引経路全体のサプライ
チェーン・リスクを評価
し、大規模な混乱を回避

リスク緩和、コスト削減、コンプライアンス順守を実現するためには、輸出入業務の追跡や監督をリアルタイムで行う必要があります。ONESOURCE Global Trade Visibilityを導入することで、取引経路全ての貿易業務について調和のとれた統一的な視点を得るとともに、貿易コンプライアンス主導型のサプライチェーンを構築することができます。



The Challenge

取引データは明確に可視化されていますか？

貿易データが別々のシステムに存在する、つまり各種政府機関や、複数の通関業者、運送業者に分散している場合、貿易コンプライアンスが難しくなることがあります。その結果、意思決定に用いられる情報が古かったり、整合性に欠けたり、不完全なものであったりします。

貿易データをグローバルに管理できるようになるためには、いくつかの問題に明確に答える必要があります。例えば、自社の世界全体での関税納付額、通関業者の業務能力、利用できる自由貿易協定、そして最も重要なのは、自社の貿易データが正確かつ完全かという問題です。



ソリューション

適切な情報にもとづく意思決定を行い、コンプライアンス違反のリスクを低減

ONESOURCE Global Trade Visibility (GTV) を導入することで、継続的に更新される貿易データから知見を得られるようになり、より適切な情報にもとづく意思決定や、重要業績評価指標 (KPI) の測定と管理、関税減免機会の特定、税関規則に違反するリスクの軽減が可能になります。

ONESOURCE GTVは、自社データを保存しているネットワークとの統合が可能であり、また貿易コンプライアンス業務についての知見を得ることを目的とした、そのまますぐに使えるレポートとダッシュボード機能を備えています。GTVを利用することで、データ分析を開始できるまでの期間が数か月ではなく数週間に短縮され、価値実現時間 (TTV: Time to Value) の迅速化が実現されます。



導入のメリット

先進的アナリティクスの活用で グローバルな貿易業務を完全に可視化

GTVの先進的アナリティクス・プラットフォームを活用することで、企業は継続的な改善を実現できるとともに、常に変化する規制環境の先を見据えた対応が可能になります。また自社のグローバルな輸出入業務を、リアルタイムで可視化することも可能です。

GTVは、全ての申告データを1つの統合された視点から見ることで、「ビッグデータ」分析が容易になり、関税減免の特定や、コンプライアンス・リスクの管理、サプライチェーンのパフォーマンス向上につながります。

自社データの分析に専念するだけで、残りは全てシステムが処理します。



特徴

ONESOURCE Global Classificationの特徴

- 210以上の国・地域の400項目以上のFTA原産地規則を収録した、豊富な統合貿易コンテンツ
- 直観的なフィルターを利用して、製品番号レベルまでの絞り込みが可能
- そのまますぐに使える組み込み型レポートが1,000件以上収録され、貿易データの分析に活用
- IT部門の手を借りずに、セットアップの時間を短縮
- ソーシング戦略の変更を検討する際に、陸揚げコストへの影響を見極めることが可能
- 他のONESOURCEソリューションと統合することで、検認に向けた分析を管理することが可能
- 様々なコンプライアンスデータを集約することで、自社のグローバルな貿易業務に対する統一的な視点が可能
- 適用可能な自由貿易協定や関税優遇制度にもとづく、戦略的意思決定が可能
- ダイナミック・スコアカードを活用して、貿易コンプライアンス業務の健全性を評価することが可能

お問い合わせ

☎ 03-4520-1350 ✉ marketingjp@tr.com

トムソン・ロイターについて

トムソン・ロイターはビジネスに有効な情報を”活用”できる形でお届けするリーディング企業です。法律xテクノロジー、税務・会計、輸出入管理、FTA、コンプライアンス管理業務に携わる専門家のため、世界で最もグローバルなメディアサービスであるロイターの情報と組み合わせ、専門性の高い情報をご提供しています。

詳しい情報は、thomsonreuters.jpをご覧ください。